

DS愛の園 新聞

デイサービスセンター愛の園

元気いっぱい



今回ご紹介するのは、センターの「朝の日課」体操です。

毎朝、送迎車がセンターに到着し皆さん暖かいお茶で一服すると、その日ごとにスタッフが交代で朝礼をさせて頂いています。

「〇月〇日、今日は〇日です」とその日の行事や気になるニュースなどをお話しし、ひと心地着いた頃に朝の体操が始まります。坂本九さんの懐かしい歌



声「上を向いて歩こう」に合わせて首・腕・足と順番に動かして行きます。とっても簡単な運動ですが曲が終わるころには体もポカポカ。皆さん最初に来られた時は少し戸惑われる事もあったそうです。



りますが、すぐに覚えられて自然と体が動き出します。長年慣れた方などは歌を口ずさみながら体を動かされている方も。また、座ったままでも出来る運動ですので、ご自宅でも是非やってみてください。

人ひと

いつもセンターに飾ってある二枚の絵、今回はその絵を描いて下さった方を紹介したいと思います。



青山茂さん(朝来)。青山さんは日置のご出身で若い頃は大阪でお仕事をされ郷里の近くの朝来に戻ってこられたそうです。

昭和六四年頃、白浜のゴルフ場での仕事を退職されたから絵画を始められたとの事で、ご自宅には百点を超える作品があるというから感服致します。お仕事をされていた頃も趣味で多少は絵を描いていたそうでした。

那智の滝



すが本格的に始めたのは退職されてから。紀伊半島の綺麗な風景をじかに足を運んで絵に描くのが楽しみだったそうです。

青山さん曰く「日本には美しい風景が色々あるが、この南紀は熊野古道を始め本当に良い景色が多い」この南紀に生まれ育ったありがたさをもう一度認識させられます。また青山さんがこだわったのが風景の中でも「水辺の風景」だそうで、「やっぱり動く水の流れる様に描くのは難しい」とのこと。この腕前ですが、誰かに教わった訳で無く全くの独学だそうで。上達のコツは「実際に現地に足を運んで、綺麗な風景を見る事。それを何回も重ねる事」だそうです。以前は東京の美術展にも毎年出展を続けられており、絵画を続ける励みになったそうです。



潮の岬の風景

終戦を満州で迎えられ、その後ロシアに拘留。そんな大変なご苦労をされた中でも、「バイカル湖の雄大さに見張った」という青山さん、自然を愛する心が、どの絵からも伝わってくる様です。(感謝)

センター紹介



現在デイサービスセンター愛の園では四台の自動車が朝のお迎えと夕方のお送りに活躍しています。定員一〇人の大きなリフト車から、四人乗りの小さな軽自動車まで、でも実は全て福祉車両という特別な仕様の車なんです。



右の写真は一番小さな軽自動車。でも助手席がこんな風にスライドして下まで降りてくるので、車椅子の方でも楽に乗り降りができるすぐれもの。小回りが利くので細い路地も楽々。



また大きなリフト車は車椅子を一度に二台も固定できますので、座席に乗り換える面倒もありません。大型のリフトが装備されており最大二〇〇キロまでの昇降が可能ですので、どんな方でもお体にご負担の無い

10月は

今年の一〇月、大阪市では一日から一四日の間に真夏が五日、夏日が九日となり例年に無い暑い一〇月となりました。ところが一日以降は例年以下の気温が続く、急に気温低下がみられた様子です。そんな中、八日に紀南地域の小学校では早くもインフルエンザによる学級閉鎖

が発生、少し早いシーズン到来を迎えました。
☆インフルエンザの特徴
● 時間帯を問わず、38℃を越える高熱がある ● 寒気・震え(特に発熱する直前) ● 倦怠感 ● 頭痛 ● 関節痛・筋肉痛
こんな症状が出た時は速やかに受診しましょう。スタッフも近々予防接種を受ける予定ですが、「うがい手洗い」を心掛けて毎日元気に過ごしましょう。

形での送迎が可能です。スタッフ一同、いつも安全運転で皆さんの快適な送迎を心掛けていきます。



栗林由典

スタッフを代表し送迎担当の栗林さんからひと一言。☆安全第一の送迎☆
「皆様への気配りを motto として日々勤める事を心がけています。」



DS愛の園 ご利用状況

月曜日 × 満員です
火曜日 ○ 残りわずか
水曜日 ○ 残りわずか
木曜日 ◎ 空きあります
金曜日 ○ 残りわずか
土曜日 × 満員です
☆送迎については
ご相談下さい

〒649-2103
和歌山県西牟婁郡上富田町
生馬316-56

TEL (0739) 47-0105
FAX (0739) 47-4329

ホームページ
http://shinai.or.jp

「キリストの愛を以って
互いに仕える」